

令和 3 年 4 月 16 日

教 育 長 様

(※受付番号)

研究コース
グループ研究 A
校 園 コード (代表者校 園 の市費コード)
661456

代表者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	校 園 長 名 :	山 口 祐 子
	電 話 :	06-6981-8800
	事 務 職 員 名 :	栗 田 有 加
申請者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	職 名 ・ 名 前 :	主 務 教 諭 藤 井 優 美 子
	電 話 :	06-6981-8800

令和 3 年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究 A	研究年数	継続研究 (3 年目)
2	研究テーマ	I C T を活用し、共に学び共に育つ授業を創造する ～情報活用能力育成を目指した主体的・対話的で深い学びの実践～			
3	研究目的	テーマに合致した目的を端的に記載してください。 文部科学省が「GIGAスクール構想」を掲げ、1人1台にパソコン端末が前倒しで整備された。新学習指導要領では、言語能力、問題解決能力と並んで、情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力として育成することが求められ、society5.0の時代を生き抜いていく児童にとって不可欠な情報活用能力の育成を図る実践を進める。 ○年間を通して I C T を児童が主体的に活用する授業の推進 ○教科等横断的な単元を設け、児童が主体的に情報を収集、取捨選択、分類整理し、発表することができるパフォーマンス課題の設定 ○「習得・活用・探究」の学習の流れから、協働してプレゼンテーション資料を作成し、他学年や他校、地域の方などへの発信することによる対話的な学習をさらなるものに発展 ○互いの発表を聞き合う過程で自分の考えや意見を他者と比較することで、自分の考えや意見を確かなものにする児童の深い学びの実現			
4	研究内容	継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。 1人1台端末が整備されたことに即した形での情報モラル教育、プログラミング教育の年間計画の再構築や情報活用能力チェックリストの見直しを行う。年間を通して安定した情報活用能力が実感できるように研究を深めていきたい。また、オンライン会議アプリや協働学習アプリを効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの授業展開について、実践をもとに研究し、教職員の I C T 活用スキルと授業力の向上に取り組む。 ○情報活用能力育成の視点に立った、主体的で対話的な深い学びを実践する授業改善と、指導力・授業力の向上。 ・情報活用能力を育成する効果的な単元構成 (カリキュラムマネジメント) ・児童が主体的に取り組めるパフォーマンス課題の工夫 ・I C T を活用した協働的な学習の効果的な授業展開の工夫 ・遠隔交流授業への挑戦 ○情報活用能力の3観点 (情報活用の実践力・情報の科学的な理解・情報社会に参画する態度) と 1人1台端末活用を意識した、I C T 年間計画の改善 ・情報活用チェックリストの活用による児童の実態把握と課題解決の取り組み ・情報モラル教育の充実 ・I C T 活用スキル (キーボード入力・キーワード検索等) 向上のための継続的な実践 ○個別最適化学習の充実 ・デジタルコンテンツの活用 ・登校できない状況を想定したオンライン授業の試行 ・反転学習の実施 ○プログラミング教育の系統立てた指導のための計画の実践と指導力・授業力の向上。			

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>4月 研究テーマ・研究の柱・実践内容・見込まれる成果等の検討 研究推進全体研修会</p> <p>5月 研究授業年間計画作成 (公開授業に向けた授業者、指導案のひな型、研修日程・内容等) 「情報活用能力チェックリスト」実施・分析(第1回)</p> <p>6月 授業研究会(講師招聘)</p> <p>7月 授業研究会(講師招聘)</p> <p>8月 情報教育校内研修会</p> <p>9月 授業研究会</p> <p>10月 授業研究会・「情報活用能力チェックリスト」実施・分析(第2回)</p> <p>11月 授業研究会</p> <p>12月 授業研究会(講師招聘)</p> <p>1月 研究のまとめ 研究発表を行い、本年度の成果を発表(東成区教員研究発表会)</p> <p>2月 「情報活用能力チェックリスト」実施・分析(最終)</p> <p>3月 教員へのアンケート実施 来年度へむけて、本年度の成果と課題を分析</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 児童が主体的にICTを活用し、協働的な学びや言語活動を行うことにより、「情報を適切に活用する能力」、「自分で考え判断する力」、「自分の考えを豊かに伝える力」を身につけることができる。</p> <p>《検証方法》 経年調査・校内アンケートにおける、「学級の友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度より向上させる。</p> <p>【見込まれる成果2】 児童が主体的にICTを活用し、協働的な学びや言語活動を行うことによる児童の情報活用能力向上</p> <p>《検証方法》 児童に対し情報活用能力チェックリストを年度当初、年度末に実施し、全学年とも平均ポイントを10%向上させる。</p> <p>【見込まれる成果3】 教職員のICT活用スキルや授業力の向上</p> <p>《検証方法》 教員のICT活用指導力アンケート(文科省「学校情報化調査」)において、総合平均ポイントが3.5以上となるようにする。</p>

		【見込まれる成果４】				
		《検証方法》				
6	見込まれる 成果とその 検証方法	【見込まれる成果５】				
		《検証方法》				
7	研究成果の 共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和４年２月25日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1"> <tr> <td>日程</td><td>令和　　４　　年　　１　　月　　19　　日</td><td>場所</td><td>中本小学校 （東成区教員研究発表会）</td></tr> </table> <p>◆代表校園ＨＰでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和　　４　　年　　１　　月　　19　　日	場所	中本小学校 （東成区教員研究発表会）
日程	令和　　４　　年　　１　　月　　19　　日	場所	中本小学校 （東成区教員研究発表会）			
8	代表校園長 のコメント	<p>本研究は、「がんばる先生支援」の３年次研究である。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、ＩＣＴを活用した学習支援や協働学習に全教員で取り組んだ。児童の情報活用力の向上、教員のＩＣＴ活用指導力向上が図られ大きく成果が上がった。</p> <p>１人１台端末が整備され、その活用実践、効果的に活用する授業展開の研究が急務であると考え、今年度も取り組みを進めている。他地域・他校との遠隔交流は、児童にとって意欲的に取り組める課題となり、主体的・対話的で深い学びにもつながる取り組みとして挑戦を始めている。主体的・対話的で深い学びのための授業改善と、ＩＣＴ活用による個別に最適化された学習指導を車の両輪として、取り組みを進めていく。</p> <p>研究推進にあたっては、昨年度に引き続き園田学園女子大学の堀田博史教授に指導いただくこととしており、堀田教授にも快諾いただいている。</p>				

令和 3 年 4 月 16 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
グループ研究 A
校 園 コード (代表者校 園 の市費コード)
661456

代表者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	校 園 長 名 :	山口 祐子
	電 話 :	06-6981-8800
	事務職員名 :	栗田 有加
申請者	校 園 名 :	大阪市立今里小学校
	職 名 ・ 名 前 :	主務教諭 藤井 優美子
	電 話 :	06-6981-8800

令和 3 年度 「がんばる先生支援」研究支援 経費執行申請書

◇「がんばる先生支援」として、経費を次のとおり申請します。

研究テーマ	I C T を活用し、共に学び共に育つ授業を創造する ～情報活用能力育成を目指した主体的・対話的で深い学びの実践～
-------	--

費 目		金 額	備 考
8 旅費	5 普通旅費	0	
教育センターでの経費執行	計	0	①
7 報償費	1 報償金	71,400	
10 需用費	1 消耗品費	378,600	
	4 印刷製本費	0	
11 役務費	1 通信運搬費	0	
	4 手数料	0	
	5 筆耕翻訳料	0	
12 委託料		0	
13 使用料及賃借料	1 使用料	0	
17 備品購入費	2 校用器具費	200,000	
	3 図書購入費	0	
18 負担金、補助金及交付金	5 会費	0	
学校での経費執行	計	650,000	②
合 計		650,000	①+②

研究活動にあたって、どのような目的で、どのような物品を購入するのか、主なものを記述すること。

- ・最新の実践について研修するため、11月のJAET大阪大会に実践者(6名)が資料を購入して参加
- ・プログラミング教育のため、学習者用プログラミングアプリの購入(学校単位)
- ・プレゼンテーション作成のため、学習者用画像加工アプリの購入(学習者用55台分)
- ・大型提示装置の教室環境整備のため、遮光カーテンの購入設置(7教室)
- ・機器接続のため、ケーブル(6本)・変換アダプタ(5本)の購入

内訳明細

研究コース

グループ研究 A

代表校園

大阪市立今里小学校

(R03 様式 2-2)

代表校校園コード

661456

費 目	内 容	数 量	単 価	金 額	予 定 月
8 - 5 普通旅費					
	費 目 小 計			0	
7 - 1 報償金	研究会講師（大学教授）	3	23,800	71,400	
	費 目 小 計			71,400	
10 - 1 消耗品費	JAET大阪大会資料代	6	3,000	18,000	
	プログラミングアプリ（ビスケツト）	1	22,000	22,000	
	画像加工アプリ（ストップモーションスタジオ）	55	600	33,000	
	遮光カーテン	7	41,000	287,000	
	HDMI ケーブル	6	2,100	12,600	
	マイクロミニ変換アダプタ	5	1,200	6,000	
	費 目 小 計			378,600	
10 - 4 印刷製本費					
	費 目 小 計			0	
11 - 1 通信運搬費					
	費 目 小 計			0	
11 - 4 手数料					
	費 目 小 計			0	
11 - 5 筆耕翻訳料					
	費 目 小 計			0	
12 委託料					
	費 目 小 計			0	
13 - 1 使用料					
	費 目 小 計			0	
17 - 2 校用器具費	動画撮影カメラ（GoPro）一式	1	60,000	60,000	
	360度カメラ	1	140,000	140,000	
	費 目 小 計			200,000	
17 - 3 図書購入費					
	費 目 小 計			0	
18 - 5 会費					
	費 目 小 計			0	
合 計				650,000	

令和 3 年度 「がんばる先生支援」研究支援 名簿

代表者	校園名：	大阪市立今里小学校	校園長名：	山口 祐子
申請者	校園名：	大阪市立今里小学校	職名・名前：	主務教諭 藤井 優美子

番号	所 属 校 園 名	職 種	名 前
1	今里小学校	校長	山口 祐子
2	今里小学校	教頭	川本 直也
3	今里小学校	指導教諭	斉田 俊平
4	今里小学校	主務教諭	李 貴 子
5	今里小学校	主務教諭	瀬古 裕代
6	今里小学校	主務教諭	藤井 優美子
7	今里小学校	主務教諭	池内 一尊
8	今里小学校	主務教諭	梶野 るい
9	今里小学校	教諭	安藤 七美
10	今里小学校	教諭	篠木 萌
11	今里小学校	講師	佐久間 絵里佳
12	今里小学校	講師	中野 奨也
13	今里小学校	主務養護教諭	倉石 美津子
14	今里小学校	養護助教諭	枅 沙弥佳
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

令和 3 年度 「がんばる先生支援」研究支援 名簿

代表者	校 園 名 : 大阪市立今里小学校	校 園 長 名 : 山口 祐子
申請者	校 園 名 : 大阪市立今里小学校	職 名 ・ 名 前 : 主 務 教 諭 藤 井 優 美 子

番 号	所 属 校 園 名	職 種	名 前
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			